

## 井の中の蛙

角田 陽太

はじめに、帰国後、私が思ったことは「この研修に参加して本当に良かった。」この言葉に尽きる。私がこの研修を通して何を感じたのか。それを書き記していきたい。

### ●参加動機

私がこの研修に参加しようと思った理由は、英語の成績に伸び悩んでいたのもっと英語に対する興味が欲しい。ただそれだけの理由だった。周りの人は夢を決めるとか生き様を学ぶなどだったので、少々恥ずかしくなった。しかし、この研修で大切なのは、いかに固い動機と自分の人生に対する疑問を持っているかということである。

### ●紅林氏と岡本氏による話から

このレクチャーは日本語で行われた。当初は英語だと思っていたので安心した。この二人のお話は非常に興味深かった。両者とも自分の体験や当時の様子を話しているだけなのに、なぜか心が惹かれるのだ。おそらくそれは、二人の考えが、高校生活に対する核心をついていたのではないと思う。二人の話から、自分の人生に対する疑問を解決へと導く指針のようなものを得ることができた。また、紅林氏の「自分の中でかっこよくなれ。」という言葉と、岡本氏の「マジックワードに騙されるな。」という言葉が印象に残った。前者では、人の言う通俗的な「かっこいい」に左右されずに行動して、目標を達成しろ。後者では、例に挙げると政治家の大衆受けするような言葉に疑いの目を向け、本当の意味を納得するまで追求するということである。これらの言葉は私の固定概念を壊してくれた。そして二人が口をそろえて言ったのは、自分で自分の意見を言える人になれ、ということだった。ある物事に対して考え、まとめて、口にだす。それができて一人前の大人だという。それができるように今勉強に励め、とも。

### ●クリスのレクチャーから

クリスの授業は午後八時から十時までであったので、普段習うと、うとうとしてしまう時間帯であろうが、レクチャーがとても面白かったので印象に残っている。クリスには、実用的な英語を学んだと思う。例えば生徒が *Our teacher scolds me.* と言ったときに、クリスはその言葉はあまり使わない。それを言いたいのであれば *Our teacher tells me off.* であると。それだけではなく、私が学校で学んだ多くの英語の知識が、今では使われて



僕(左)とクリス(右)いい笑顔◎

なかったり、意味をなさないことが分かった。あくまで英語は言語なので、机に向かっているだけでは、英語の本質を見失ってしまうことを身をもって理解できた。

## ●RAの三人の方から

RAの三人を紹介したいと思う。右上の写真の、左から紹介して行こう。一人目はピーターである。彼のメジャーは哲学とコンピューターサイエンスで、香港生まれ。北京ダックが好き。二人目はベス。彼女のメジャーはピーターと同じで、イタリア生まれ。漫画ではデスノートが好きだという。三人目はジェーコブ。彼はロンドン生まれで、メジャーはヒューマンサイエンス。性格は人見知りしないことである。

さて、これらの情報をどのように得たと思うか。これらは事前に教えられ、対面した時に活用するよう言われたものではない。自分でその三人に話しかけて手に入れたものである。話しかけるのに大変苦労したが、日常の英会話を楽しめたと思う。



## ●勘違いしてほしくないこと

ある夜に、友達にこんなことを言われた。「僕は研修で〇〇を学んだんだけどさ、周りの人に聞いたら全く違うことを感じていて・・・周りとは違うように感じてるってことに自信なくしちゃったんだ。」と。それを聞いた僕はそいつの頬にビンタをしてやった。それぞれ違う人生を送っているのだから、同じ講義を受けても人によって心に響く言葉は、それぞれ違うことが当たり前である。その友達がそれを理解していなくて、確固とした動機と自分の人生に対する疑問を持っていないがゆえに、そのことについて理解していなかったことに憤りを感じたのである。

人と違うことを感じているということに恥ずかしさを持ち、その貴重な、今の自分しか感受できない金言をみすみす見捨ててしまうということ、(ミスが多いのは置いて)。それが、僕の勘違いしてほしくないことである。心にビビッときたことを一挙一動で捕まえて、そのまま紙に書き写してほしい。

## ●研修を終えて

さて、研修を通して様々な体験をしてきたが、体験をしたからと言って、その研修は終わりではない。帰国後にそれを実行に移すことが最も×10大切なのである。なぜ親が50万円も出してこの研修に参加させてくれたのか。それは、私に成長してほしいからだと思う。ただ行って終わってしまったら、行ってない人と同じ存在になってしまう。わざわざ地球の反対側にあるイギリスに行ったならば、この研修に参加した人のみが知ることができた知見や価値観をこれからの学校生活、いや、果ては自分の人生に生かしていくことこそが最も重要なことではないか。井の中の蛙は蛇には勝てない。世界で通用する人材に自分を導いていきたい。

